



新年明けましておめでとうございます。2026年の幕開けにあたり、日頃より図書館をご利用いただいている皆様には心より感謝申し上げます。

2026年を迎えられたのも日頃からオーナー様、利用者様が温かく支えてくださったおかげです。本年も「まちかど図書館ぼたん」を通じて新しい発見や出会い、地域のコミュニティの場を皆様に提供できれば幸いです。また、「まちかど図書館ぼたん」並びに長野県立大学築山ゼミ一同をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今月のニュースレターでは、12月の座談会の様子を中心に、図書館の活動をお届けします！

Topic 01 第13回イベントを開催しました！

当日のスケジュール

前半<13:00~14:00>

【アートサポーターのお仕事とは？】

作品を作りながらアートサポーターのお仕事についてのお話を坂田さんから伺いました。

【ボタンを使ってアートワーク】

それぞれ作った作品を発表しアートワークの感想をみんなで共有しました。

後半<14:00~15:00>

【ボタンがテーマの作品紹介】

2025年12月20日(土)に、第13回目となるイベントを行いました。今回のスピーカーは、本棚オーナーである坂田恵理子さんでした。坂田さんはアートサポーター、画家としてご活躍しています。

今回は「ボタンを使ってアートしよう！」をテーマにお話をしてくださいました。当日は本棚オーナーの攪上さんと、新聞を見て来てくださった馬場さん、まちづくり長野の宮島さん、加えて、築山ゼミ生の徳竹、小栗、小山、神田、そして築山教授の計9名での開催となりました。

【アートサポーターってどんな仕事？】

アートサポーターとは障害のある人の芸術活動を支援したり、美術館・文化施設のイベント運営をサポートしたりする人のことで、その活動は障害者支援、展示設営補助、イベント受付、広報活動など多岐にわたり、アートを通じて地域や社会と繋がる活動を支える存在となっています。今回のイベントでは坂田さんが作品作りで使用するローラーの色塗りや接着剤、模造紙、色鉛筆などを用意してください。私たちが限られた時間の中で作品作りを楽しめるように時間をかけて準備してくださいました。私たちが見えないところでこのような事前準備をして作品づくりを楽しめるような環境を整えてくださっているのもアートサポーターの方ならではの仕事なのかなと感じました。

【目的】障害のある人が持つ可能性の表現を広げ、社会との接点を創出すること、地域で持続的にアート活動を支えるための担い手を育成すること、文化芸術の推進とコミュニティの強化を図るなどの目的があります。

【役割】本人の「書きたい」「表現したい」という気持ちを引き出すことを目指すと共に参加者と一番近くで接し、アートプロジェクトの理念を伝え、社会とアートをつなぐという特役割が挙げられます。実際に今回行われた作品づくりでも決まった作品を作るのではなく参加者それぞれが自由に思い思いに自らの作品を作り、初めてお会いした方とも作品作りを通してたくさんお話をすることができました。また、アートサポーターを増やすための養成講座や、活動づくりも行われているようです。

【ボタンを使ってアートワークしよう！】

実際に「まちかど図書館ボタン」で売っているボタンやリボンを使用してみみんなで一つのテーブルを囲んで作品作りをしました♪作品作りを始めにあたり机が汚れないように机の上に模造紙を敷きウォーミングアップとして各自が色鉛筆を使って模造紙にカラフルな線や模様を自由に描きました。後から来た参加者の方もその様子を見ることでわくわくした気持ちになり作品作りを開始する前からアートの楽しさを感じることができました！🎨ワークでは色の違うローラーを好きなように組み合わせたりボタンやリボンで飾りつけをしたりそれぞれの感情に沿った作品作りが行われました。

【アートワークで使用した材料】

ボタン(ご自身で持参された方や、この図書館で購入された方もいらっしゃいました。)、ロールペーパー(レシート、ラップ等)の芯、アクリル絵の具、油性マジック、接着剤(ボンド、ひつつき虫)、糸、リボン等

【作品制作の手順】

①芯に着色

ロールペーパーの芯にアクリル絵の具で着色をする(今回は坂田さんが事前に行ってくださいました)

②芯の組み立て

大きさや色の異なる芯を用いて、自分の好きな形に組み立てる

③飾り付け

坂田さんが事前用意してくださったボタンや、図書館ボタンで販売しているボタン、リボン等を用いて組み立てた芯に飾りつける

④作品名を決める

【アートワークの様子】

事前にこれを作ろう！と決めて作った方もいれば、どんなものを作ろうか悩みながら作品作りに取りかかる人もいらっしゃいました。形や色が人によって異なっていて、個性豊かな素敵な作品を完成させることができました。

キッチンに置く菜箸入れ、自転車の鍵置き、鍋敷き、ペン立てなど様々な種類の作品が出来上がりました。さらには、クリスマスが近かったので、図書館に飾るサンタとトナカイの置物を作る方もいらっしゃいました。また、ボタンを芯の中に入れて閉じ込めることで音を鳴らそうという新しい発想にも触れることが出来ました。時間が足りなくなってしまうくらい、皆さん楽しく和やかな雰囲気の中で作品製作に取り組んでいらっしゃいました。



【ぼたんがテーマの作品紹介】

①「季節の衣替え」田中達也

2022 MINIATURE LIFE 展2 上田市立美術館

②「ぼたん曼荼羅」戸矢崎満雄 瀬戸内国際芸術祭 香川県瀬居町 アートプロジェクト

③「はさみうさぎとボタン人形」柿沼裕朋 水金の ゆらぐ言 (2018国書刊行会)

④「扣鈕」森鷗外 日露戦争従軍詩歌集 -うた日記-

⑤「茶色の朝」フランク・パヴロフ/ヴィンセント ト・ギャロ(2003大月書店)

⑥バリアフリー本棚 (攪上さんの本棚) から 「ぼたんのある布絵本」

【展覧会について】

一口に展覧会といってもどのようなものか
お話していただきました。

展覧会の主催者は、美術館やギャラリー、
企業、自治体などであり、これらが協働して
行われる展覧会や美術館独自の企画として行
われることもあります。

特に公募展で全国的規模で代表的なものは
多部門の日本美術展覧会（日展）や日本画だ
けの院展や創画展があり、坂田さんは創画展
に出されていたそうです。また、洋画や工
芸、書道、写真などそれぞれのジャンルに合
わせて行われています。

長野県で最も大きい公募展は長野県美術展
で、県内の7支部が独立して運営しており、美
術を学ぶ環境を長野県の誰にでも提供でき
るような利点があるそうです。また障がい者
の方を対象としたものは長野障がい者文化芸術
祭や坂田さんが関わっているザワメキアート
展が行われています。ザワメキアート展の作
品に関する本が坂田さんの本棚にあるので、
どのような作品があるのかを見ることができます。

【公募展の役割】

役割としては新しい才能の発掘・育成、作
家の発表の場の提供、そして美術・文化の振
興などがあります。



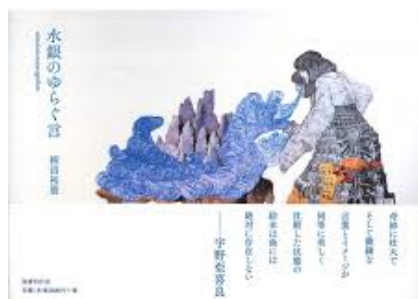
①田中達也 2022 MINIATURE LIFE 展 2 から
サントミューゼ 上田市立美術館



②瀬戸内国際芸術祭 香川県瀬居町
アートプロジェクト



⑥バリアフリー絵本



【お話を聞いた参加者からのコメント】

アートワークに参加した方から、若い学生と交流する良い機会になった、リラックスした雰囲気に参加の方と悩みながら作品を作る時間が楽しかったという感想をいただきました。また、ぼたんがテーマの作品紹介の中で、廃棄されてしまうぼたんが沢山存在していることを知り、ぼたんに大しての価値観が変わったというお話もありました。

また、使用するロールペーパーの色、ぼたんの種類であったり、それぞれの作品への思いを共有することで好きなものや家族に対する思いが見えてきてアート作品を通してその人について知るきっかけとなりました。

坂田さんは今回のイベントの準備に向けて、何度も図書館にご来館いただき、資料や色鉛筆などアートワークで使用する材料などをご用意していただき、事前準備の大変さを身に染みて感じました。

Topic 02 2月のイベントについて

2月27日（金）に第15回イベントを開催いたします。今回は卒論の内容をお話ししていただきます。皆様のご参加をお待ちしています！

日時：2月27日（金）13：00～15：00

場所：まちかど図書館ぼたん

報告者：山本嗣起さん（長野県立大学 築山ゼミ4年生）

テーマ：「一箱本棚オーナー制度図書館におけるソーシャル・キャピタル形成の比較研究
—長野市と新潟市のみんとしよの事例分析を通して—」

Topic 03 3月のイベントについて

3月のイベントは、開学以来初代学長として、8年の長きにわたり、ご尽力くださいました、長野県立大学の金田一真澄学長をお招き、ご講演頂きます！この度、本館オーナーにもなっていたいただきました。

日時：3月21日（土）13：10～15：00

場所：長野県立大学 後町キャンパス講堂

スピーカー：金田一真澄学長

テーマ：「祖父・金田一京助、父・春彦を語る」（仮題）

※今回は、事前申込をお願いしたいと思います。→<https://forms.office.com/r/z4capu3JcG>

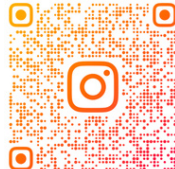


Topic 04 開館時間について

ホームページ



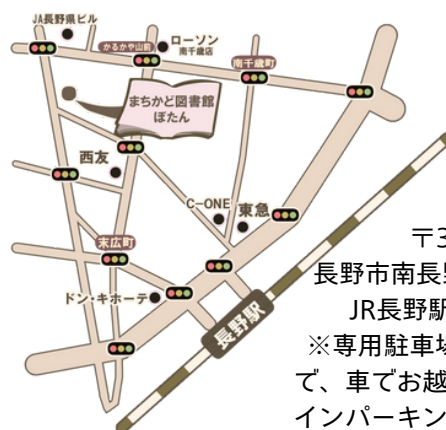
Instagram



開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館しております。詳細はホームページまたはInstagramで確認をお願いいたします。

URL:<https://machinakabotan.com/www.machinakabotan.com/>

Topic 05 アクセス



〒380-0826

長野市南長野北石堂町1185-6

JR長野駅から徒歩7分、

※専用駐車場はございませんので、車でお越しの際は近隣のコインパーキングへのご駐車をお願いいたします。



2026年1月31日発行

編集：長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール

住所：〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室

Tel：026-217-2241（代表） fax：026-235-0026

E-mail：tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp

主催：中心市街地活性化協議会